

初夏の候、皆さま方におかれましては益々ご健勝のこととお慶びを申し上げます。
日ごろ、当院の地域連携にご理解とご協力を賜り感謝申し上げます。



地域医療連携室室長就任のご挨拶

地域医療連携室室長 兼 乳腺・内分泌外科部長 羽藤誠記

平成30年4月より純正会 名古屋市立緑市民病院 外科に赴任しました羽藤誠記(はとうもととき)と申します。

前任地は名古屋市立東部医療センターで、そこで地域医療連携センター長をしていた関係で、今回、地域医療連携室室長の辞令を受けました。

前任地の連携室の役わりは、急性期病院として地域包括ケアへの転院支援と転院調整が主な事項でした。

一方当院では平成26年7月の『地域包括ケア病棟』の開設に伴い、急性期からのポストアキュートとしての役わりと在宅・生活復帰支援が主たる役わりです。

赴任して2か月が経ちました。まだ戸惑うことばかりですが、地域の医療機関、介護施設等との連携を密にして、患者さんが安心して医療を継続できるようにしていきたいと思っています。

『地域包括ケアシステム』の構築が少しでも進むように、さらに皆さまからのさまざまなご要望に応えられるようにしてまいります。

何とぞ、ご支援、ご指導を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

新規導入医療機器のご紹介

【手術用顕微鏡】

当院では、ICG術中血流観察が可能な最新の手術用顕微鏡(ドイツ:ライカマイクロシステムズ社製)を平成30年4月より導入しました。最新の手術用顕微鏡の導入により、従来では見られなかった脳構造と血管を確実にとらえ、正確で安全な脳神経外科手術を行っています。

「ICG術中血流観察」とは、静脈内にICG(インドシアニングリーン)を投与し、その波長を近赤外線カメラにて可視化することで血流を観察する方法です。以前よりも安全に、脳神経外科手術が行えるようになりました。



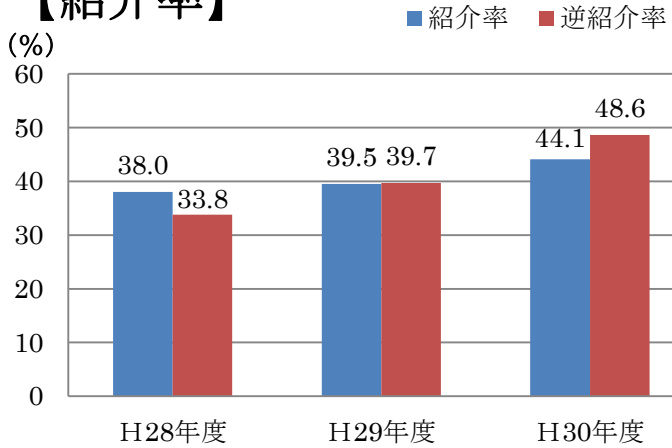
【ナビゲーションシステム】

脳神経外科または整形外科領域において、手術器具の刺入位置を確認する手術用ナビゲーションシステムです。当ナビゲーションシステムは、術前に撮像した患者様のCT・MRI画像をもとに脳腫瘍または脊椎スクリューを植込む位置までの情報を把握し、該当患部までのアプローチを正確に行うことができます。



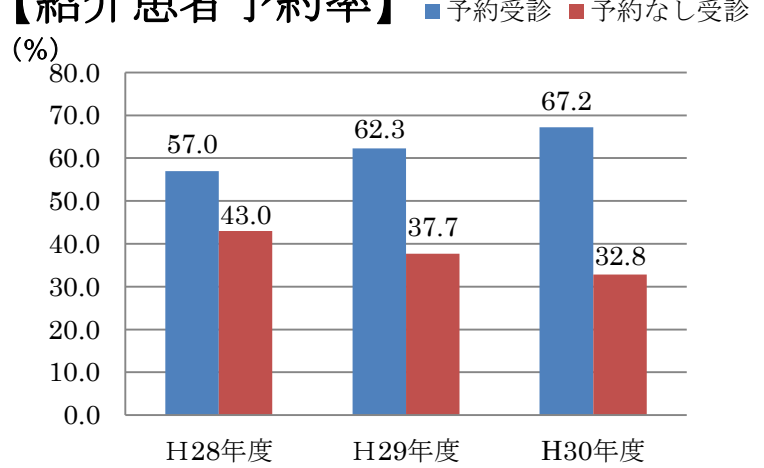


【紹介率】

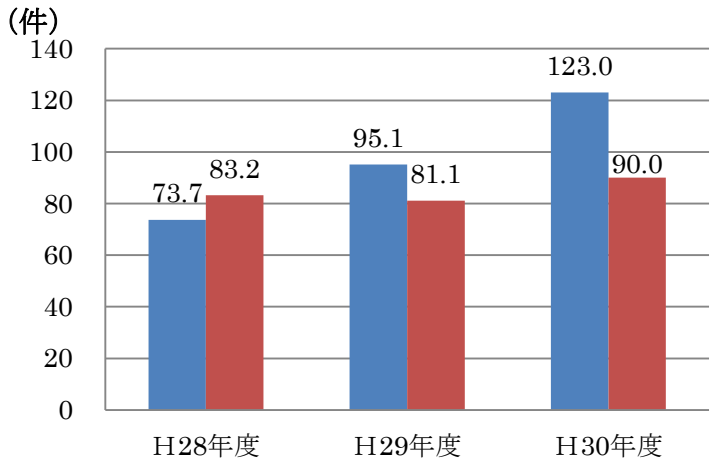


※地域医療支援病院の紹介率で計算

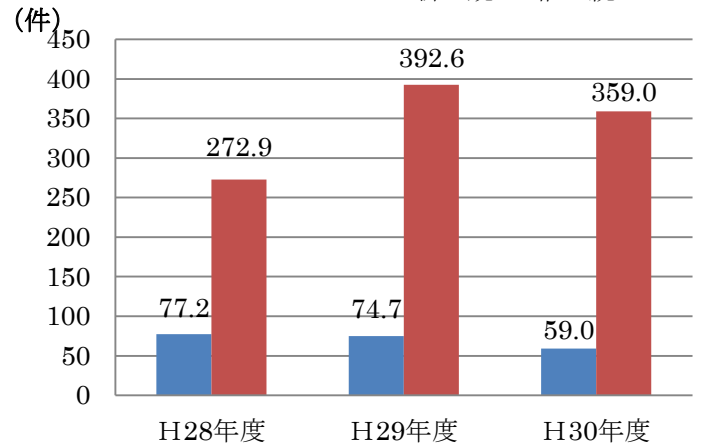
【紹介患者予約率】

※患者さんご本人が電話で直接予約
できます。

【医療機器利用件数】



【医療相談件数】



「地域包括ケア病棟」をご活用ください

当院では、在宅復帰・社会復帰を実現する為に、

- ①急性期病院での治療後のリハビリ等の支援（ポストアキュート）
- ②在宅・生活復帰支援
- ③自宅、施設等で療養中の方の症状増悪時の救急対応や、誤嚥予防、ADL向上目的のリハビリテーションなどの後方支援（サブアキュート）
- ④その他の受入（化学療法、緩和ケア、糖尿病教育入院、医療必要度の高いレスパイトケア等のメディカルショートステイ）



など、後方支援病院としての役割・機能を果たす「地域包括ケア病棟」を2病棟105床配置しております。多職種でご自宅、施設等までの生活を支援いたします。

※詳細につきましては、地域医療連携室までお気軽にお問い合わせください。

【お問い合わせ窓口】

地域医療連携室

TEL：052-892-1334

FAX：052-892-1315

月曜日～金曜日：9：00～18：00 土曜日：9：00～12：00（祝日・休診日は除く）